

SHINGHI

2022
No.607

新地

廣報

謹賀新年



新年

あいさつ

新地町長

大堀 武



明けましておめでとございます。

町民の皆さまには、令和4年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。年頭に当たり、謹んでご挨拶申し上げますとともに、日頃から町政の運営に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

東日本大震災と原発事故から10年が経過し、新たな決意で復興を誓った昨年は、幾多の困難を乗り越え、発展の礎を築いてこられた先人たちと、多くの町民の皆様方のお力添えにより、町制施行50周年を迎えることが出来ました。多くの関係者の皆さまに、あらためて心より感謝を申し上げます。

また、昨年2月に発生した福島県沖地震では、22戸の全壊家屋を含め、1,500戸を超える家屋が被災しました。津波の発生や、人命にかかわる事故等はありませんでしたが、10年前の震災に匹敵する地震が発生したということ、あらためて、自然災害の恐ろしさを実感したと同時に、いつ、いかなる時でも、今回のような災害は起こり得る事だと肝に銘じて、災害対策を進めていかなければならないと再認識したところであります。

私たちの社会生活に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症への取り組みといたしましては、希望者に2回のワクチン接種を行い、本年には3回目の接種に向けた

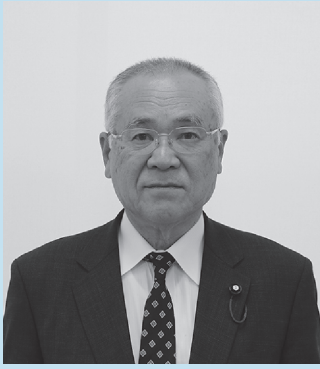
準備を行っているところであります。

さて、本年が2年目となる第6次新地町総合計画では10年後の町の将来像として「安心して暮らせる 活力あるまち しんち」を掲げました。将来の新地町は、災害に強いまち、犯罪や事故のないまちをめざし、防災システムの更新や防災拠点の強靱化、通学路や地域の見守り活動など地域と一体となって進めるとともに、若者の定住を促進する就労支援や出会いの場、子育て環境の充実など、若い力を後押しできる施策に取り組み、さらに、地域資源を活かした観光交流や商工業・農林水産業の振興・復興のため、情報発信の充実と広域的な観光連携、地元企業支援や6次産業化、地産地消と担い手の創出に力を注ぎ、様々な形態により取り組みを進めてまいります。この将来像実現のためには、町民の皆さんとの「協働」が欠かせません。行政と地域、各種団体や事業者などが、それぞれの役割を担いながら、意見を出し合い対話をしていくことが、これからのまちづくりを進める上で重要であると考えております。これからも町民の皆さんのご理解とご協力を、お願いいたします。

結びに、町民の皆さまにとりまして、新しい年が健やかで幸多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

謹 賀

新年のご



新地町議会議長

遠藤 満

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。

日頃から、町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年2月13日に発生した福島県沖地震により本町は甚大な被害を受けました。被災された皆さまに対し、心よりお見舞いを申し上げます。

改めて予測が難しい昨今の自然災害に備え、災害に強いまちづくりをさらに進めることが重要であると痛感させられました。

また、一昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、私たちの生活や働く環境も大きく様変わりしました。今後もお長期に及ぶことが懸念されますが、ワクチン接種や飲み薬の開発が進んでおり、一日も早い収束を願っております。

新地町は昨年、町制施行50周年を迎え、3月には第6次新地町総合計画が策定され、「安心して暮らせる 活力あるまち しんち」をめざし、新たな町づくりが4月からスタートしました。

東日本大震災後に新たな施設が整備され、防災緑地公園や文化交流センターなど新たな町の拠点となっております。

今後は、この新たな施設と既存の地域資源を活用し、産業の振興や交流人口の拡大等に取り組み、若者世代の定住促進につなげることに重要と考えております。

また、原発事故による風評被害の払拭、防災集団移転元地の活用、さらには、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、全国的な問題である大規模災害や少子高齢化、人口減少など取り組みまなければならない問題もあります。

議会といたしましても、町民の目線に立ち、寄り添いながら、町当局と情報を共有し、住民福祉の向上のため、今年も全議員一丸となり、町づくりに精進することをお誓い申し上げます。

本年が新地町にとりまして、さらなる発展の年になりますよう、町民の皆様には、健康でしあわせな年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。



第 20 回新地町男女共生のつどい

男女共生社会を目指して

11月23日に第20回新地町男女共生のつどいを町文化交流センターで開催しました。

当日は約100人が参加し、男女共生について理解を深めました。

本事業は、男女が互いの人権を尊重し、それぞれの個性と能力を十分発揮して、あらゆる分野への参画ができる社会づくりの気運を高め、これを推進することを目的としています。

オープニングイベントと第二部で、Boost KIDS（ブーストキッズ）の皆さんによるダンスパフォーマンスが行われ、第一部では、株式会社陽と人（ひとびと）代表取締役の小林味愛（みあい）氏を迎え「地域資源を活用した女性ならではの商品開発」を演題にオンライン講演会を行いました。



第8回さわやかだわが家のおすすめ料理コンテスト・新地町十七字のふれあい事業表彰式

優秀作品を表彰

11月24日に「第8回さわやかだわが家のおすすめ料理コンテスト」と「新地町十七字のふれあい事業」の優秀作品の表彰式を行いました。

料理コンテストは「新地のこどもはさわやかだ」をスローガンとして、地産地消の推進と家庭の食事での実践化を図るため行われているものです。今年度は「わが家のおすすめ朝食時短料理」をテーマに町内の小中学生（保護者）を対象に作品を募集し、応募総数107点の中から優秀作品5点を表彰しました。

十七字のふれあい事業は、人と人との関わりの中で感じた思いや願いなどを十七字で表現することを通して、豊かな心と教育力の向上を目的としたもので、「食育」と「ICT」について作品を募集し、応募総数575点の中から優秀作品を表彰しました。



料理コンテスト入賞者



十七字のふれあい事業
（食育の部）入賞者



十七字のふれあい事業
（ICTの部）入賞者

相双五城信用組合による寄附



活力ある新地町の推進に寄与

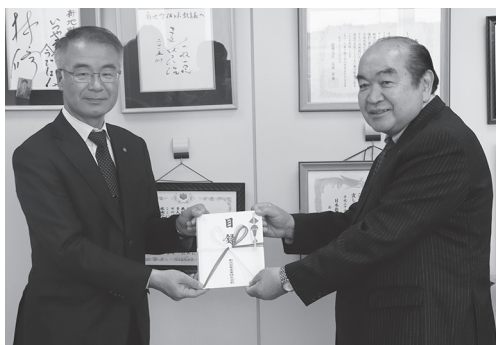
11月26日に相双五城信用組合の梅澤理事長が町役場を訪れ、大堀町長に寄附金を手渡しました。

この活動は、相双五城信用組合70周年記念事業の一環として行われ、いただいた寄附金は、地方創生包括連携協定による協力事項の推進のために使われます。

本協定は、地方創生の実現に向け、相互に協力をを行い、将来にわたり「活力ある新地町」を維持することを目的としています。

新地発電産業株式会社による寄附

児童図書購入費として寄附



11月29日に新地発電産業株式会社の鎌田社長が町役場を訪れ、佐々木教育長に寄附金を手渡しました。

同社は、新地発電所で燃料受払設備の運転や石炭灰の運搬、わくわくランドの運営など幅広く業務を担っている会社です。

いただいた寄附金は、創立30周年記念事業の一環として、新地町の子どもたちに役立てて欲しいと寄せられたもので、新地町図書館において児童図書購入に使われます。

新地町納税貯蓄組合連合会

小学校へ納税啓発品を寄贈

12月6日および7日に新地町納税貯蓄組合連合会が福田小学校、駒ヶ嶺小学校へ納税啓発品を贈りました。

同連合会は、例年、租税教育推進事業の一環として、町が税務署や町教育委員会と連携して実施する「租税教室」の際に、同連合会で製作した「納税標語入りボールペン」を児童に配布しています。

今年度、福田小学校および駒ヶ嶺小学校は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「租税教室」が開催できなかったため、同連合会の佐藤会長と齋藤副会長が小学校に訪問し、全校児童分のボールペンを寄贈しました。

なお、新地小学校には、6月10日に「租税教室」を開催した際に全校児童へボールペンを配布しています。



▲福田小学校への寄贈



▲駒ヶ嶺小学校への寄贈

新地町更生保護女性会

更生保護に尽力



▲右から2番目、門馬キヌ子さん
中央、目黒弘子さん

12月9日に新地町更生保護女性会の方々が町役場を訪れ、長年にわたる活動に対して門馬キヌ子(中島)さんが東北地方更生保護女性会連盟会長表彰を、目黒弘子(小川)さんが福島保護観察所長より感謝状を、それぞれ受賞したことを大堀町長に報告しました。

新地町更生保護女性会は、女性の持つあたたかさ、細やかさを生かした活動を行っており、更生保護施設で食事作り、諸行事への参加交流、物資の支援協力や地域の保護司の方々と協力して誰もが安心して暮らせる地域社会づくりのための活動を行っている団体です。



まちづくり懇談会

まちづくりについて意見交換



12月15日、町文化交流センターでまちづくり懇談会を開催しました。
 行政と町民の皆さんが、町政などについて意見を交わすことを目的に行っているものです。
 今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者を行政区、地区の役員や町内の各種団体等に限定しました。
 当日は約100名が参加し、町から第6次新地町総合計画や主要事業の説明後、まちづくりに関して活発な意見交換が行われました。

新地銘酒「鹿狼山」完成発表会

美味しい新酒ができました

町の特産品として親しまれている純米吟醸「鹿狼山」の完成発表会が12月14日、鹿狼の湯で行われました。
 関係者27名が参加し、出来栄えを確かめました。
 今回完成した「鹿狼山」は、香り高く、コメの甘みを楽しめる口当たりがいいお酒に仕上がったとのことでした。



第31回福島県少年空手道選手権大会

県大会で健闘

12月10日に、第31回福島県少年空手道選手権大会に出場した目黒稟椀さん(形競技第2位)(木崎)、目黒莉明菜さん(形競技第3位・組手競技第3位)(木崎)、佐々木心花さん(形競技優勝・組手競技敢闘賞)(中島)、只野梨花さん(形競技第2位・組手競技第3位)(深町)が町役場を訪れ、大堀町長に入賞を報告しました。
 一人一人が感想を述べた後、町長が「メダルは一生の宝であり、大事にしてほしい。次はみんなが優勝できるように頑張してほしい。」と健闘をたたえました。



株式会社 ADEKA による寄附

町の教育振興へ寄与

株式会社 ADEKA 相馬工場と株式会社 ADEKA 労働組合相馬分会から12月13日、町へ寄附をいただきました。
 高橋工場長、星相馬分会長が町役場を訪れ、大堀町長に寄附金を手渡しました。
 同社からの寄附は東日本大震災以前より継続していただいております。寄附金は教育振興に活用されます。



新地町スポーツ推進委員

スポーツ振興の推進に尽力

12月16日に、町文化交流センターで表彰状伝達式が行われました。

八巻京子さん(高田)が全国スポーツ推進委員連合会より、30年勤続スポーツ推進委員感謝状を、菅野孝雄さん(菅谷)が東北地区スポーツ推進委員協議会より功労者表彰をそれぞれ受賞し、佐々木教育長が感謝状と表彰状を伝達しました。

佐々木教育長は「町内のスポーツ振興に対する委員の方々のサポートに感謝している」とたたえました。



第6回新地町議会定例会 議案9件が可決されました

新地町議会定例会(令和3年第6回)は、12月3日から12月8日までの6日間の会期で開催されました。

今回の議会は「新地町国民健康保険条例の一部を改正する条例について」をはじめ議案9件を提出し、可決されました。

職員給与に関する条例の一部を改正する条例について
 福島県人事委員会勧告に準じ、一般職員の期末手当の支給月数を0.15月分、再任用職員の期末手当の支給月数を0.05月分引き下げました。
 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
 福島県人事委員会勧告及び職員給与に関する条例の改正を踏まえ、期末手当の支給月数を0.05月分引き下げました。
 新地町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
 健康保険法施行令等の一部を改正する政令(令和3年政令第222号)の公布に伴い、令和4年1月1日から出産育児一時金等の支給額が見直されるため、所



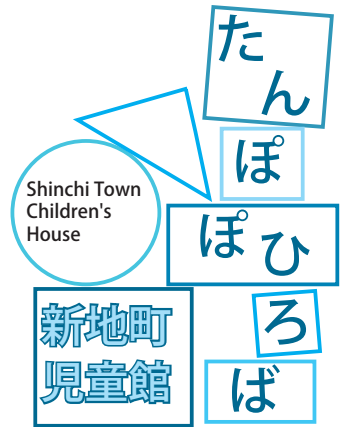
▲県道から移管となり町道に認定

町道路線の認定について
 県道赤柴中島線の改変による一部移管及びJR常磐線側道の整備完了に伴い、町道として管理するため認定するものです。

区分	改正前	改正後
出産育児一時金	404,000円	408,000円
加算額(掛金分)	16,000円	12,000円
出産育児一時金(総額)	420,000円	420,000円

要の改正を行うものです。

町道路線の変更について
 県道赤柴中島線の改変に伴い、町道の起点及び終点を変更するものです。
 町道路線の廃止について
 県事業である二級河川地蔵川河川改修事業に伴い、町道路線を廃止するものです。
 令和3年度新地町一般会計補正予算(第5号)について
 歳入歳出それぞれ266,000千円を追加するものです。
 令和3年度新地町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について
 歳入歳出それぞれ50,000千円を追加するものです。



「親子ダンスで元気・元気！」

「キビタン♪キビタン♪」
「後ろで。パタ。パタ」・・・

いつも楽しい音楽が流れている児童館。12月のたんぽぽひろばは講師に澁谷千津子さんをお迎えし、「親子ダンス」を行いました。

はじめに子どもたちにお馴染みの「キビタン」や「エビカニクス」の曲に合わせて踊った後、お母さん向けに「BUTTER」「夜に駆ける」「レインオンミー」など、講師の動きをお手本に音楽に合わせて子どももお母さんも楽しい雰囲気になりながら、リズムに乗ってからだを動かしました。

子育て中は、前傾姿勢が多く、からだの一部だけを動かしがちになり、肩こり

や腰痛が起こりやすくなります。約1時間、リズムカルにからだを動かしたことで、日頃の疲れやストレスが発散されたようです。心地よい疲労感に包まれた親子の笑顔がたくさん見られました。ダンスを楽しんだ後のおやつタイムでは、お母さん同士の会話も弾みま

した。

寒い季節になり、からだを動かす機会が少なくなりがちです。たんぽぽひろばでは、子どもたちが好きな音楽に合わせて体操も行っています。子どもたちの体操と一緒にお父さんお母さんもからだを動かしてみませんか。たくさんの遊具もありますので、親子で気軽に遊びに来てくださいね。



たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
1月26日(水)	鬼のお面作りと「豆まき」	児童館
2月9日(水)	たんぽぽクッキング	保健センター
2月16日(水)	ひな人形をつくろう	児童館

※参加には事前の予約が必要です。

※今後の行事予定について、新型コロナウイルス感染症の状況により内容の一部変更や中止になる場合があります。

※詳しくは新地町ホームページ内「子育て支援サイト」をご覧ください。



町ホームページ

児童館のご利用案内

開館時間 月曜～土曜 10時～18時
休館日 日曜日・祝祭日・年末年始
午前 なかよしひろば（月曜～土曜）
午後 児童クラブ
※土曜・長期休業期間は8時～18時

◎問い合わせ 児童館（電話：62-4432）

保育所から
こんにちは
福田保育所

わくわくクッキング♡

「できるまで」を見て、米がどのようになっているか学びました。

いよいよ・・・

④米を炊こう

加熱するとぶくぶく泡がでてきました。

『いいにおい』 『お米がジヤンプしてる』 子供たちは真剣な顔で鍋をのぞき込んでいます。

いよいよ鍋の蓋をあけます！湯気があがると同時に『おお〜』と歓声があがりました。

⑤おにぎりを作ろう
さっそく炊きあがったご飯を、ラップでにぎにぎ・・・一人ひとり違った形のおにぎりができました。

★いただきま〜す★

『いただきます』をしてお楽しみの試食タイムです。『おいしい』『あまいね〜』『もちもちで美味しい♡』自分で作ったおにぎりは格別！子供たちはご飯

本来の美味しさを感じてくれました。
ご飯をいっぱい食べて、力をつけましょうね♪

行事予定
行事はありません。

1月



【お楽しみの試食タイム】



【米を研いでみよう】



【米を炊こう】



【おにぎりを作ろう】

母と子の健康 スケジュール

健康診査等	対象者	日時 (受付時間)
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう。	1月21日(金) 2月4日(金) 9:00~10:00
3か月児健診	3年8月21日~ 10月19日生	1月19日(水) 12:30~12:45
10か月児・ 1歳児健診	3年4月・5月生 2年12月・3年1月生	2月7日(月) 13:00~13:15
1歳6か月児 健診	2年5月~7月生	2月14日(月) 13:00~13:15
3歳児健診	30年7月~9月生	1月17日(月) 13:00~13:15
ベビーとママの リフレッシュ体操	生後2か月から1歳の誕生日を迎える月までのお子さんとその家族	1月18日(火) 10:00~11:00

◎問い合わせ 保健センター (電話: 62-2096)

※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

子どものつぶやき
室内あそび中、正座して遊んでいたNちゃん：『せんせー。足がしゅわしゅわになっちゃった〜』
正座して足がしゅわしゅわみたいですよ！

図書館へ行こう

Let's go to Library

＝新着本・CD・DVDのご案内＝

読み聞かせ会

日時 1月15日(土)
11時～11時30分

福島県沖地震の影響により休止していた
図書館ボランティア「スイミー」による
読み聞かせ会を再開します！

◎一般書

『ものがたりの賊』

真藤 順丈



1923年、大震災で壊滅状態の帝都に、陸軍の胡乱な動き、致死の感染症も忍び寄る。そんな帝都を救うため、光源氏、坊ちゃん、李徴ら日本文学の名キャラクターたちが大立ち廻り！彼らは無事帝都を守り抜けるのか？

- 『残照の頂続・山女日記』 湊 かなえ
- 『中野のお父さんの快刀乱麻』 北村 薫
- 『特急リバティ会津111号のアリバイ』 西村 京太郎
- 『我が家は前からソーシャル・ディスタンス』 綾小路 きみまる
- 『妖しい忍者 消えた忍びと幻術師』
- 『有元家のさもないおかず』
- 『ギフトッドの個性を知り、伸ばす方法』

◎児童書

『せっしゃ、なべぶぎょうでござる！』

しめの ゆき



なべ田さんちは6人家族。みんなくいしんぼうだけど、食べ物の好みがばらばらで、冬はなべをめぐって大激闘！末っ子のヒロの「みんなで仲良くひとつのなべを囲みたい」という願いを叶えようと現れたのは…。食育におすすめ。

- 『海のアトリエ』 堀川 理万子
- 『いたいのがたいのとんでけ〜』 谷口 國博
- 『なぜてをあらうの？』 ミカーラ フローランス
- 『りりかさんのぬいぐるみ診療所』 かの ゆうこ
- 『さわって学べる図形図鑑』
- 『信じられない現実の生きもの図鑑』

◎CD

- 『治志奏逢 4』 bank band
- 『THE ALBUM JP ver』 BLACKPINK
- 『平成令和アニソン BEST』

◎DVD

- 『ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生』
- 『みをつくし料理帖』
- 『くまのプーさん』

《トピックス》

『福田小学校2年生図書館見学学習』

11月24日(水)

福田小学校2年生が、生活科「みんなであかまのしせつ」の学習で図書館に来館しました。

図書館の使い方を説明して館内見学をしたあと、貸出体験をしてもらいました。



《お知らせ》

『福BOOKろ！』

～出会ったことのない本に出会おう～

1月5日(水)～なくなり次第終了

今年も図書福袋を実施します。いつもは選ばない本に出会えて、新しい発見があるかも…先着50袋限定です！

『2021年間ベストセラー』

1月5日(水)～2月12日(土)

『季節のおすすめ絵本』

～とらの絵本・冬のおはなし・節分～

1月5日(水)～2月3日(木)

図書館カレンダー(1月)

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	2/1	2	3	4	5

■は休館日



図書館HP
QRコード



「1 学年特別授業」

12月13日(月)5・6時間目、「地域で仕事をつくる」をテーマに、特別授業が行われました。国際教養大学の先生と院生も出席し、飯舘村地域おこし協力隊の松本奈々さん、松尾洋輝さんや秋田県五城目町の元地域おこし協力隊である柳澤龍さんより、現在地域で取り組んでいる活動等についてご紹介いただきました。生徒たちは地域振興の重要性を改めて感じ、進路実現に向けて意識を高めました。

「秋季清掃活動」

12月2日(木)に秋季清掃活動を行いました。冷たい風が吹く中でしたが、グラウンドや校舎外の側溝などを中心に、ゴミ拾いや落ち葉集めなどを行いました。生徒たちは学び舎に対し、感謝の気持ちを込めて清掃し、奉仕作業を通して勤労と協力の心を養いました。

「インターンシップ」

本校2年生は、12月8日(水)から9日(木)までの2日間、インターンシップを行いました。社会福祉法人相馬福祉会特別養護老人ホーム相馬ホームで就業体験をした2年A組の森優華さんは、「利用者の方とお話するときには聞き取りやすい声の大きさを出すのが難しかったのですが、職員の方々や利用者の方々と集まってお話しするときには、仕事の楽しさを感じることができました。この経験を今後の進路活動に生かしたいと思います。」と話してくれました。

仙台市へのお出かけは、新地町バスストップを利用しましょう！

今年の4月1日にオープンした新地町バスストップ（常磐自動車道新地インターチェンジ高速バスのりば）を利用し、高速バスで仙台市まで直行便で行くことができます。

仙台駅まで約60分で到着します。お出かけや通院などにぜひご利用ください。

利用方法

予約は不要で乗車券はご乗車の際に乗務員よりお買い求めください。

駐車場は48台収容できる利用者無料駐車場があります。

高速バス時刻表（毎日運行）

新地⇒仙台行き			
新地町バスストップ	6時53分	7時53分	8時53分
仙台駅東口	7時55分	8時55分	9時55分
あおば通り駅	8時10分	9時10分	10時10分
東北大学病院前	8時25分	9時25分	—

仙台⇒新地行き			
東北大学病院前	12時55分	14時35分	—
仙台駅東口	13時20分	15時00分	18時20分
新地町バスストップ	14時20分	16時00分	19時20分

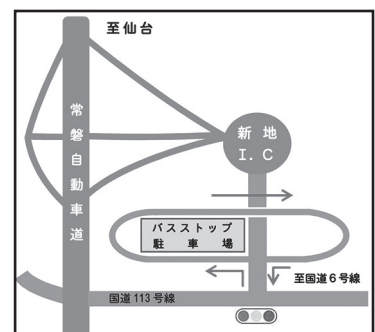
運賃

	片道券	2回券
仙台駅東口 あおば通り駅	800円(400円)	1,500円(750円)
東北大学病院	1,000円(500円)	1,700円(850円)

※()内の金額は、割引運賃になります。

- ・小学生以下と障がい者および運転免許返納者の方は半額になります。(障がい者手帳・運転免許の取消通知書または運転経歴証明書に乗車時にご提示ください。)
- ・3歳以下無料です。
- ・中学生以上は「普通運賃」です。

広報しんち R4.1.5 (11)



◎問い合わせ

企画振興課
(電話：62-2112)
東北アクセス株式会社
(電話：23-2964)

暮らしの情報



1月23日(日) 新地町産福島県産 農林水産物地産地消 フェア

町では、町内・県内で採れた農林水産物の販路拡大・販売促進で地産地消を推進するため、次のとおり新地町産福島県産農林水産物地産地消フェアを開催します。

ぜひ、町内・県内で採れた新鮮な農林水産物等を購入し、地元を応援しましょう。

内容
・500円以上の新地町産福島県産農林水産物の購入

した方に対し、引換券をお配りします。

・お買い上げ500円毎に引換券1枚をお配りします。(上限1人当たり2枚)

引換券の使用方法

・フェア開催当日に、開催店舗外に役場農林水産課テントを設置し、そこで引換券と農林水産物を交換します。

※引換券はフェア当日のみ有効ですので、忘れずにご使用ください。

開催日時

1月23日(日)

・地場産市場めぐりや

8時～18時

・味菜ひろばよりみち

9時～16時

※いずれの店舗も配布品がなくなり次第、終了となります。

新型コロナウイルス感染症対策について

・感染症拡大防止のための基本対策を徹底してフェアを実施します。

・来場される方は、マスク着用の上、混雑する時間を

避け、少人数でのご来場に御協力お願いいたします。

◎問い合わせ

農林水産課

☎62-2194



統計調査員を募集します

町では、各種統計調査に従事する新地町統計調査員協議会会員を募集しています。

統計調査員とは

「統計調査員」は、調査票の配布、回収や点検、整

理などの業務を行います。世帯や事業所と直接やりとりをする、統計調査の仕事の中で最も重要な役割を担っています。

仕事の内容

調査ごとに違いがありますが、主な内容は次のとおりです。

①調査員事務打合せ会への出席

②調査区域および調査対象の確認・調査票配布のための書類準備等

③調査対象への調査票の配布・記入依頼・回収

④回収した調査票の検査・整理

⑤調査票等の関係書類の提出

登録申請方法

「新地町統計調査員協議会入会申込書」に必要事項を記入し提出してください。申込用紙は企画振興課窓口にて備え付けてあります。

◎問い合わせ

企画振興課

☎62-2112

社会福祉協議会の 弁護士無料相談所

社会福祉協議会では、弁護士無料相談所を開設します。

生計、相続、借金などの専門的な相談にも応じます。日常生活でお悩みの方は申し込みの上、ご相談下さい。

日時

2月10日(木)

13時～15時

場所 保健センター内

担当弁護士

ひばり法律事務所

西山 健司 弁護士

※都合により担当弁護士が変更になる場合があります。

相談を希望される方は、町社会福祉協議会までお申し込みください。

◎申し込み・問い合わせ

社会福祉協議会

☎62-4213

「医療費のお知らせ」 (医療費通知) について

福島県後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆様に自己の健康管理と医療に対する関心を高めていただくために、毎年1回「医療費のお知らせ」を送付しています。

令和3年1月から12月までの「医療費のお知らせ」を、令和4年2月下旬より順次発送しますので、到着しましたら、ご自身の受診状況等について確認をお願いいたします。

いします。なお、対象期間内に医療機関への受診がなかった場合は、通知は発行されません。

「医療費のお知らせ」については、県内全域に順次発送する関係上、個別の発送には応じられません。確定申告を急がれる場合は、領収書により申告手続きをお願いいたします。

また、「医療費のお知らせ」を確定申告の参考資料として使用する場合において、「自己負担相当額」と実際に負担した額が異なる

ときは、補填された金額(高額療養費等)を差し引くなど、ご自身で訂正し、申告してください。

なお、医療費控除の詳細に関することは、最寄りの税務署等にお問い合わせください。

ご不明な点等がございましたら、福島県後期高齢者医療広域連合までご連絡ください。

◎問い合わせ

福島県後期高齢者医療広域連合
☎024-528-9025

農地パトロール実施のお知らせ

農業委員会では、1月下旬から2月まで農地法に基づく農地パトロールを実施いたします。

農地パトロールでは、耕作放棄地の実態把握や違反転用防止のため、農業委員と農地利用最適化推進委員が農地に立ち入りすることがありますので、皆様のご協力をお願いいたします。



◎問い合わせ

農業委員会事務局
(電話：62-2195)

土地の境界問題でお困りではありませんか？

福島地方法務局と県土地家屋調査士会では、連携して境界問題の解決を支援します。

●筆界特定制度(筆界を明確にします)

法務局の職員が、専門家の意見を踏まえて、申請者等の意見に拘束されずに、真実の筆界を特定します。

※明渡しなど、所有権に関する問題を直接解決することはできません。

●土地家屋調査士会ADR制度(境界問題全般を解決します)

土地家屋調査士及び弁護士が相談・調停を行い、柔軟に問題解決のお手伝いをします。

※相手方の応諾がないと手続きを進めることができません。

◎問い合わせ

福島地方法務局不動産登記部門(筆界特定制度)
境界紛争解決支援センターふくしま
(土地家屋調査士会ADR制度)

(電話：024-534-2048)

(電話：024-535-3937)

町営住宅入居者募集

町では、町営住宅の入居者を次のとおり募集します。

入居者資格

- ・自ら居住するための住居を必要としている方
- ・現に同居し、または同居しようとする親族が居る方（婚姻の予約者も含む。）

※ただし、60歳以上の方や条例で定める方は単身でも入居できます。

- ・世帯の収入額が、公営住宅法で定められた基準収入額以下である方（一律の額ではなく、人数や家族の状況により異なります。）
- ・納期の到来している町税等を完納している方
- ・暴力団員ではない方

申込方法

都市計画課窓口
に備え付けてあります町営住宅入居申込書に必要事項を記入し、関係書類を添付して提出してください。（申込書類の返却はしません。）

募集期間 1月5日(水)～2月2日(水)

その他

- ・入居資格審査を行い、応募数が募集戸数を上回った場合は、選考委員会で選考します。
- ・入居の際は、新地町に住民票を異動していただきます。

◎問い合わせ 都市計画課
62-2113



【募集住宅の概要】

名称	雁小屋町営住宅	新林町営住宅	駒ヶ嶺駅前町営住宅
募集戸数	1戸	1戸	1戸
構造	木造平屋建	木造2階建	
間取り	3DK	3LDK	
家賃	20,000円～ 29,800円	16,900円～ 25,200円	21,800円～ 32,500円
駐車場	1台 1,500円/月	1台 1,400円/月	

名称	愛宕東町営住宅	愛宕町営住宅	高見原町営住宅	中里町営住宅	小川町営住宅 (4階・5階)
募集戸数	1戸	1戸	2戸	1戸	5戸
構造	P C造3階建	木造平屋建	木造2階建		鉄筋コンクリート造 5階建
間取り	3DK	2DK	3LDK		3DK
家賃	22,300円 ～ 33,300円	16,700円 ～ 24,900円	17,400円 ～ 26,300円	21,200円 ～ 31,600円	14,200円 ～ 21,100円
駐車場	1台 1,500円/月	1台目 1,500円/月・2台目 1,400円/月			民間駐車場

【共通事項】

敷金	3か月分の家賃に相当する金額（入居時）
連帯保証人	入居される方と同程度以上の収入を有する方 2名
家賃	家賃は入居者全員の収入、部屋の広さ、立地条件等から算出され、毎年収入などに応じて改定されます。
その他	・自治会の諸活動に対しては積極的にご協力をお願いします。 ・ペット（犬、ネコ、鳥類等）の飼育は禁止します。

わくわくランド イベント情報

「オリジナルコースター
を作ろう」

日時 1月23日(日)

① 10時30分～12時

② 13時30分～15時

※各回30分前から受付開始

場所

○わくわくランド 多目的
ホール

内容

木枠にモザイクタイルをデ
ザインしてオリジナルのコ

誕生おめでとう

(令和3年11月21日～令和3年12月20日届出)

(子ども) (親) (地区)

ゆう 結 佐藤 誠也・里奈 今 泉

な お 那 緒 飯土井雄大・陽美 渋 民

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

ご冥福をお祈りします

(令和3年11月21日～令和3年12月20日届出)

(名前) (年齢) (地区)

荒 力 88歳 中 里

森 栄之進 92歳 杉 目

目黒 貞雄 94歳 小 川

日下 イナヲ 97歳 小 川

小野 勝雄 76歳 雁小屋

山内 安義 85歳 高 田

東 保志 57歳 富 倉

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

福島広域雇用促進 支援協議会からの お知らせ

福島広域雇用促進支援協
議会では、「働きたいネッ
トの企業説明会@オンライ
ン」を開催します。

日時 1月21日(金)

13時30分～15時30分

途中参加可能

参加方法

オンライン(Zoom使用)

〒979-2611
新地町駒ヶ嶺字今神1-1

内容

企業説明会(30社程度)・就
職相談・お仕事探しの支
援・移住支援のルームなど

締切

1月12日(水)

※詳細はホームページをご
覧ください。

ホームページ
QRコード



ホームページ
QRコード

◎問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議
会福島統括窓口

☎024-524-2121



今月の 納付

町県民税 第4期
国民健康保険税 第7期
介護保険料 第6期
後期高齢者医療保険料 第6期

1月31日(月)までに納付、または引落口
座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ

税務課 (電話：62-2119)
健康福祉課 (電話：62-2931)

人の動き

福島県現住人口
調査月報に基づく

人口 / 7,844人 (-1)

男 / 3,924人 (+6)

女 / 3,920人 (-7)

世帯数 / 2,780世帯 (+1)

12月1日現在 () は前月比

しんちまち生涯学習 フェスティバル 2022



日時：1/29(土) 9時～16時

1/30(日) 9時～15時

場所：農村環境改善センター・保健センター

生涯学習フェスティバルは、町で実施している各種教室のほか、公民館・勤労青少年ホームを利用しているクラブ・団体、地域で活動している自主サークルなど、多くの団体が参加するイベントです。

各種教室・サークルの学習発表や作品の展示、手作り作品の販売もありますので、お誘い合わせのうえ、お気軽にご来場ください。



【スケジュール】

- ・学習発表会（29日のみ）
- ・各種教室・サークル等の作品展示（両日）
- ・各種教室・生涯学習講座写真展（両日）
- ・手作り作品販売（両日）



【新型コロナウイルス感染症防止へのお願い】

- ・会場入口で検温を受け、備付けのアルコールで手指消毒をお願いします。
- ・体調不良等の方は入館をお断りする場合がございますのでご了承ください。
- ・来場の際はマスク着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症等の状況によっては開催を中止する場合がございます。

主催 新地町生涯学習推進本部

（事務局 新地公民館 電話：62-2085）

